

学校番号 ( 72 )  
学校名 原西小学校  
校長名 田中 栄司  
(生徒指導担当者 )

## 令和5年度 福岡市立原西小学校いじめ防止基本方針

### いじめの防止等のための取組に係る達成目標

定期的な校内研修として、4月に学校いじめ防止基本方針の共通理解、各学期の終わりに取り組みの反省を行う。3月に今年度を振り返り、次年度のいじめ防止基本方針について検討する。

#### 1 いじめ防止等に対する基本姿勢

「いじめは、どの学校でもどの学級でもどの子にも起こり得るものである。」という認識のもと、児童生徒が「いじめのない明るく楽しい学校生活」を送ることができるように、「いじめ防止基本方針」を策定した。いじめ防止のための基本姿勢として、以下の4つのポイントをあげる。

- (1) いじめを生まない教育活動の推進
- (2) 地域・家庭、関係機関との積極的連携
- (3) いじめの早期発見、いじめ事案発生時の組織的な即対応
- (4) いじめの防止等のための対策に関する校内研修の実施・充実

#### <原西小いじめゼロ宣言>

・原西小をふわふわ言葉でいっぱいしよう

#### 2 いじめの未然防止（未然防止のための取組等）

##### (1) いじめを生まない教育活動の推進

- 学校におけるいじめを生まない独自の取組の実施を一層促進する。
- 児童生徒が主体となって、いじめがおこらない学級や学校をつくるという発想に立ち、いじめの未然防止の取組を進めていく「いじめゼロプロジェクト」を実施する。
- 月に1回（年間11回程度）は「『記名』生活アンケート」を実施し、学期に1度（7、12、3月）は「いじめに特化した『記名』生活アンケート」を実施する。
- Q-U等の結果を分析し、実態に応じた支援を行う。特に、Q-Uにおける要支援群の児童生徒には、直ちに組織的かつ適切な支援を行う。
- 「学校いじめ防止対策委員会」（部会）を月1回開催する。いじめの問題への組織的指導体制の整備等の取組を推進する。

##### (2) 地域・家庭、関係機関との積極的連携

- 保護者、地域住民、児童相談所（えがお館）その他の関係者との連携を図るとともに、校区内ネットワーク会議や学校サポーター会議、学校警察連絡会議等を活用する。

### 3 いじめの早期発見・即対応（いじめの兆候を見逃さない取組等）

- (1) いじめに関する早期発見のための措置や相談体制を整備する。
- (2) いじめの問題に対する学校の取組の充実のため、「いじめ対応マニュアル」（市教委作成）及び「いじめの早期発見・早期対応の手引」（県教委作成）の活用の一層の徹底を図る。

### 4 いじめに対する措置（ネット上のいじめ、加害児童生徒への対応も含む）

- (1) 直ちにいじめを受けた児童生徒やいじめを知らせてきた児童生徒の安全を確保し、組織的に対応する。
- (2) 状況や対応の経緯等について、客観的な事実確認を行い、その結果を速やかに教育委員会に報告する。
- (3) 教育相談課等と連携し、被害児童生徒をはじめ、被害児童生徒の保護や加害児童生徒・保護者等へのカウンセリング等の心のケアを行う。
- (4) 小・中学校における出席停止制度等の適切な運用及び全ての学校における毅然とした組織的指導の徹底を図り、いじめを行った児童生徒への指導の徹底及び再発防止の徹底を推進する。
- (5) 学校だけでは対応が困難な事案に対して、教育委員会の支援チームの活用を行い、いじめの問題の早期解決に努める。
- (6) 被害児童生徒の権利・利益を擁護するための配慮として、区域外通学や別室指導等柔軟な対応に努める。
- (7) インターネット上のいじめが重大な人権侵害に当たることを理解させる取組を行い、児童生徒に情報モラルを身に付けさせる指導の充実を図る。
- (8) 加害児童生徒に対しては、人格の成長を旨として、教育的配慮の下、毅然とした態度で指導するとともに、加害児童生徒が抱える問題の解決を図る。

### 5 重大事態への対処（いじめ防止対策推進法 第28条関係）

児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるようなものについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえ、早期に警察に相談・通報し、警察と連携した対応を取る。

### 6 いじめ防止のための職員研修

- (1) 教職員のいじめの問題に関する資質の向上を図るため、教育委員会と連携し、学校基本方針の共通理解、いじめの防止等のための対策に関する校内研修を実施する。
- (2) 「いじめ対応マニュアル」、教職員向けリーフレット「いじめゼロに向けて」や「いじめの早期発見・早期対応の手引き」を活用し、自らの対応を振り返るよう教職員への指導の徹底を図る。
- (3) いじめを未然に防止するために、Q-Uアンケートの分析・活用のための校内研修を実施する。
- (4) Q-Uアンケート実施後、事例検討会において、情報を組織的に共有し、支援方針を明確にする。
- (5) ネット上のいじめに関する校内研修を実施する。

## 7 その他（各取組のPDCAサイクル等について）

- (1) 学校基本方針作成の際に、保護者等地域の方の参画や児童の意見を取り入れ、児童や地域を巻き込んだものとする。
- (2) 学校基本方針は、学校のホームページや学校通信等で広く周知を図る。
- (3) 学校基本方針に基づき、取組が適切に機能しているかを学校いじめ防止対策委員会を中心に点検し、必要に応じて見直しを行う。

## 8 いじめ防止等の対策のための組織（いじめ防止対策推進法 第22条関係）

### (1) 組織の名称・役割

○名称 原西小学校いじめ防止対策委員会

○役割

- ・基本方針に基づく取組の推進や年間計画の作成・実行・検証・修正
- ・いじめの相談・通報の窓口
- ・いじめの疑いに関する情報や児童生徒の問題行動などに係る情報の収集と記録、共有
- ・学校における、いじめであるかどうかの判断
- ・関係のある児童生徒への事実関係の聴取、組織的な指導や支援体制・対応方針の決定と保護者との連携等

### (2) 組織の構成

校長、教頭、主幹教諭、生徒指導担当教諭、養護教諭、SC、SSW、該当学年教諭

## 9 重大事態発生時の調査機関（いじめ防止対策推進法 第28条関係）

### (1) 組織の名称と役割

○名称 原西小学校いじめ防止対策委員会

○役割

- ・重大事態の発生について教育委員会への報告
- ・重大事態に係る事実関係の調査
- ・調査結果を教育委員会に報告
- ・調査結果について関係児童生徒及び保護者への情報提供

### (2) 組織の構成員

校長、教頭、教務主任、生徒指導担当教諭、養護教諭、SC、SSW、該当学年教諭

※ いじめゼロ取組月間は、1学期に設定すること。いじめゼロ実現プロジェクトは、2学期に設定すること。いじめに関するアンケートを月1回以上実施する。無記名式のアンケートは学期1回以上実施する。

※ いじめ防止等の対策のための組織の構成員のうち、学校の教職員のみで行う「校内いじめ防止対策委員会」は月に1回開催すること。

※ 学校外の関係者を含めた「原西小いじめ防止対策委員会」は、学期に1回開催すること。  
<チェック欄は、A・B・Cを記入（Aが上位）>

※ いじめ防止基本方針は5月10日までに学校のホームページに必ず掲載すること。

10 いじめ防止等の各取組の年間計画（P・D・C・Aを記入）

月	児童生徒等への取組 及び児童生徒の活動		職員研修等		チ ェ ッ ク
4	学校生活アンケート いじめアンケート（記名①） 運営委員会による取組	D D PD	いじめ防止基本方針作成 いじめ防止対策委員会	P D	
5	いじめアンケート（記名②）	D	いじめ防止対策委員会 家庭訪問 学校警察連絡協議会	D D D	
6	Q-Uアンケート いじめアンケート（記名③）	D D	いじめ防止対策委員会	D	
7	生活習慣定着度調査 ケータイ教室（保護者含む） いじめアンケート（無記名①） 保護者とともに取り組む生活 （いじめ）アンケート（記名④）	D D D D	いじめ防止対策委員会 教育相談 学校サポーター会議 地域懇談会	CA D DC DC	
8	運営委員会による取組	D	夏季研修（Q-U 事例検討会） 夏季研修 （いじめの早期発見・集団作り） ・1学期の取組の反省 ・2学期の取組の確認	CA D C AP	
9	教育相談アンケート いじめアンケート（記名⑤）	D D	いじめ防止対策委員会 教育相談 いじめ防止対策委員会	D D D	
10	いじめゼロサミット いじめアンケート（記名⑥） 児童会による取組	D D D	いじめ防止対策委員会	D	
11	生活習慣定着度調査 学校生活アンケート いじめアンケート（記名⑦）	D D D D	いじめ防止対策委員会 学校サポーター会議	D C	
12	いじめアンケート（無記名②） 保護者とともに取り組む生活 （いじめ）アンケート（記名⑧）	D D	いじめ防止対策委員会 ・2学期の取組の反省 ・3学期の取組の確認 学校警察連絡協議会 冬季研修（Q-U 事例検討会）	C A D CA	
1	いじめアンケート（記名⑨） 運営委員会による取組	D CA	いじめ防止対策委員会	D	
2	学校生活アンケート いじめアンケート（記名⑩）	D D	いじめ防止対策委員会 教育相談 学校警察連絡協議会	D D D	
3	いじめアンケート（無記名③） 保護者とともに取り組む生活 （いじめ）アンケート（記名⑪）	D D	学校サポーター会議 いじめ防止対策委員会 ・年間の取組の反省 ・年度の取組の確認	C C C A	

例：月 1 回のアンケート

1 3<sup>がつ</sup>月のめあて『感謝<sup>かんしゃ</sup>の気持ち<sup>きもち</sup>で教室をきれいにしよう。』

は 守<sup>まも</sup>れましたか？ ○をつけましょう。

① 「きれいにしよう」と掃除<sup>そうじ</sup>をがんばりましたか？

( 毎<sup>まいにち</sup>日できた だいたいできた あまりできなかった )

② 自<sup>じぶん</sup>分の机をきれいにしましたか？

( 毎<sup>まいにち</sup>日できた だいたいできた あまりできなかった )

2 家<sup>いえ</sup>でのお手<sup>てつだ</sup>伝いのこと

○ あなたは家族<sup>かぞく</sup>（父<sup>ちち</sup>、母<sup>はは</sup>、祖父<sup>そふ</sup>、祖母<sup>そぼ</sup>、きょうだいなど）のお手<sup>てつだ</sup>伝い、お世<sup>せわ</sup>話をしていますか。

① ほぼ毎<sup>まいにち</sup>日している ② 週<sup>しゅう</sup> 3日～5日している ③ 週<sup>しゅう</sup> 1日～2日している

④ 1か月に数<sup>げつ</sup>日<sup>すうじつ</sup>している ⑤ していない

○ ①～④と答<sup>こた</sup>えた人<sup>ひと</sup>に聞<sup>き</sup>きます。お手<sup>てつだ</sup>伝いやお世<sup>せわ</sup>話をすることで、自<sup>じぶん</sup>分の時<sup>じかん</sup>間<sup>かん</sup>がとれなかったり、やりたいことができなかったりすることがありますか。

※やりたいこと<sup>れい</sup>の例

・友<sup>とも</sup>だちと遊<sup>あそ</sup>ぶ ・宿<sup>しゅくだい</sup>題<sup>だい</sup>や勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>をする ・睡<sup>すい</sup>眠<sup>みん</sup>をとる など

① よくある ② ときどきある ③ あまりない ④ ない

3 その他 他<sup>た</sup> 学<sup>がっこう</sup>校<sup>こう</sup>や家<sup>うち</sup>でお困<sup>こま</sup>っていることなどあったら書<sup>か</sup>いてください。

※ 月に1回のアンケートは生徒指導部会の前に行い、学年会で気になる児童を共有しておく。気になる児童がいた場合は、部会、管理職に報告する。アンケートは教頭先生に提出し、保管する。(例 指導済み)

令和5年2月 日

保護者 様

福岡市立原西小学校  
校長

### 第3学期「生活（いじめ）についてのアンケート」の実施について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。

今年度も残り少なくなって参りました。6年生は卒業にむけて準備を始めています。

さて、本校では、「**いじめ0**」を目指した教育活動を展開していますが、いじめについては、早期発見・早期対応がとても重要とされています。

そこで、本年度も現在の子どもたちの友達関係や心の様子を知るために別紙「生活（いじめ）についてのアンケート」を下記要領で実施します。保護者の皆様におかれましては下記要領をご確認いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 記

1. 実施日 令和5年2月8日（水）～2月14日（火）

2. 提出日 令和5年2月15日（水）まで

3. 提出方法 記入した「生活（いじめ）についてのアンケート」を一緒に配布した封筒に入れ、のり付けをし、学級担任に提出する。

4. 実施方法 家庭で、保護者がお子さんと相談・確認しながら記入する。

※ 保護者の皆様が、お子さんとじっくり話をすることで、子どもたちが自分の友達関係をしっかり振り返ること、また、周りを気にせず正直にお話できることを考え、家庭で記入するようにしています。

5. その他 ○  トラブル等の内容に応じて学年・学校全体で指導・取り組みを行います。

○  ご不明な点は学校までおたずねください。

ねん 年 くみ 組 (児童名)

◇ 「はい・いいえ」のところは、どちらかを○でかこみましょう。

① あなたは、<sup>とうげこう</sup>登下校の<sup>とき</sup>時、だれと<sup>き</sup>来たり<sup>かえ</sup>帰ったりしていますか。

<sup>とうこう</sup>登校  
<sup>げこう</sup>下校


② あなたは、クラスに<sup>なか</sup>仲のよい<sup>とも</sup>友だちがいますか。→ ( はい・いいえ )

「はい」と<sup>こた</sup>答えた<sup>ひと</sup>人へ

<sup>なか</sup>仲のよい<sup>とも</sup>友だちの<sup>なまえ</sup>名前

--

③ <sup>さいきん</sup>最近、よく<sup>ともだち</sup>友達にいやなことをされたり、<sup>い</sup>言われたりすることがありますか。

→ ( はい・いいえ )

「はい」と<sup>こた</sup>答えた<sup>ひと</sup>人へ

だれにどんなことをされましたか。

④ クラスの<sup>なか</sup>中に、つらい・かなしい<sup>おも</sup>思いをしている人がいますか。→ ( はい・いいえ )

「はい」と<sup>こた</sup>答えた<sup>ひと</sup>人へ

その人の<sup>ひと</sup>名前と<sup>なまえ</sup>どんなことか<sup>か</sup>書いてください。

--

⑤ <sup>やす</sup>休み時間 ( <sup>しかん</sup>中休み・<sup>ひるやす</sup>昼休み ) <sup>あそ</sup>だれと遊びますか。

なまえ ( )

--

⑥ <sup>とも</sup>友だちと<sup>あそ</sup>遊べず、いつも<sup>ひとり</sup>一人でいる<sup>ひと</sup>人がいたら<sup>か</sup>書きましょう。

--

⑦ <sup>ね</sup>寝る時刻と<sup>お</sup>起きる時刻を<sup>か</sup>書ください。

<sup>げつ</sup>月～<sup>きんようび</sup>金曜日 ( <sup>がっこう</sup>学校がある日 ) …… <sup>ね</sup>寝る時刻 :      時      分 <sup>お</sup>起きる時刻 :      時      分

<sup>ど</sup>土～<sup>にちようび</sup>日曜・<sup>しゆくじつ</sup>祝日 ( <sup>がっこう</sup>学校がない日 ) …… <sup>ね</sup>寝る時刻 :      時      分 <sup>お</sup>起きる時刻 :      時      分

⑧ 学校が休みの日、日中は何をして過ごすことがおおいですか。

例：ゲーム、外遊び

あてはまるものをかこみましょう。

⑨ 最近、からだがついと感<sup>かん</sup>じることが多<sup>おお</sup>くなりましたか。

→ ( 多<sup>おお</sup>くなった, 変<sup>か</sup>わらない, 少<sup>すく</sup>なくなった )

⑩ 最近、イライラしたり怒<sup>おこ</sup>りっぽくなったりすると感<sup>かん</sup>じることがありますか。

〈不安・ストレス〉 → ( 多<sup>おお</sup>くなった, 変<sup>か</sup>わらない, 少<sup>すく</sup>なくなった )

⑪ 勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>以外<sup>いがい</sup>で困<sup>こま</sup>ったことがあったら、だれに相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>しますか。〈そばにいてほしい人<sup>ひと</sup>〉

→ ( 親<sup>おや</sup>, きょうだい, 先生<sup>せんせい</sup>, 友<sup>とも</sup>だち, その他<sup>た</sup>, 相<sup>そう</sup>談<sup>だん</sup>相<sup>あ</sup>手<sup>て</sup>がいない )

⑫ ここ半年間の状<sup>はん</sup>況<sup>としかん</sup>で次<sup>じやう</sup>のよ<sup>きやう</sup>うなこ<sup>つぎ</sup>とがありますか。

→ ( 極<sup>きよく</sup>端<sup>たん</sup>に食<sup>た</sup>べ過<sup>す</sup>ぎたり食<sup>た</sup>べな<sup>た</sup>かつたりするこ<sup>よる</sup>とがある, 夜<sup>ね</sup>寝<sup>つ</sup>付<sup>つ</sup>きがわるい,

尿<sup>によう</sup>の回<sup>かい</sup>数<sup>すう</sup>が異<sup>い</sup>常<sup>じやう</sup>に増<sup>ふ</sup>えた, その他<sup>た</sup> ( ) )

⑬ 悩<sup>なや</sup>みご<sup>ご</sup>とはありますか → ( はい ・ いいえ ) 「はい」と答<sup>こた</sup>えた人<sup>ひと</sup>へ…その悩<sup>なや</sup>

みごとは何<sup>なん</sup>ですか。〈差<sup>さ</sup>しつ<sup>さ</sup>かえ<sup>さ</sup>ない程<sup>てい</sup>度<sup>ど</sup>に書<sup>か</sup>いてください〉

※ 保<sup>ほ</sup>護<sup>ご</sup>者<sup>しゃ</sup>の方<sup>かた</sup>々<sup>た</sup>から、何<sup>なに</sup>かお気<sup>き</sup>づ<sup>き</sup>の点<sup>てん</sup>が<sup>き</sup>あり<sup>き</sup>ましたらご記<sup>きに</sup>入<sup>ゆう</sup>ください。

※ ご協<sup>きやう</sup>力<sup>りよく</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>が<sup>あ</sup>ら<sup>あ</sup>う<sup>あ</sup>ご<sup>あ</sup>ざ<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>した。